

## 弥陀ヶ原の火山活動解説資料（平成28年2月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。

立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・地震や微動の発生状況（図2）

弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(防) : 防災科学技術研究所、(京) : 京都大学防災研究所

図1 弥陀ヶ原 観測点配置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧できます。次回の火山活動解説資料（平成28年3月分）は平成28年4月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。

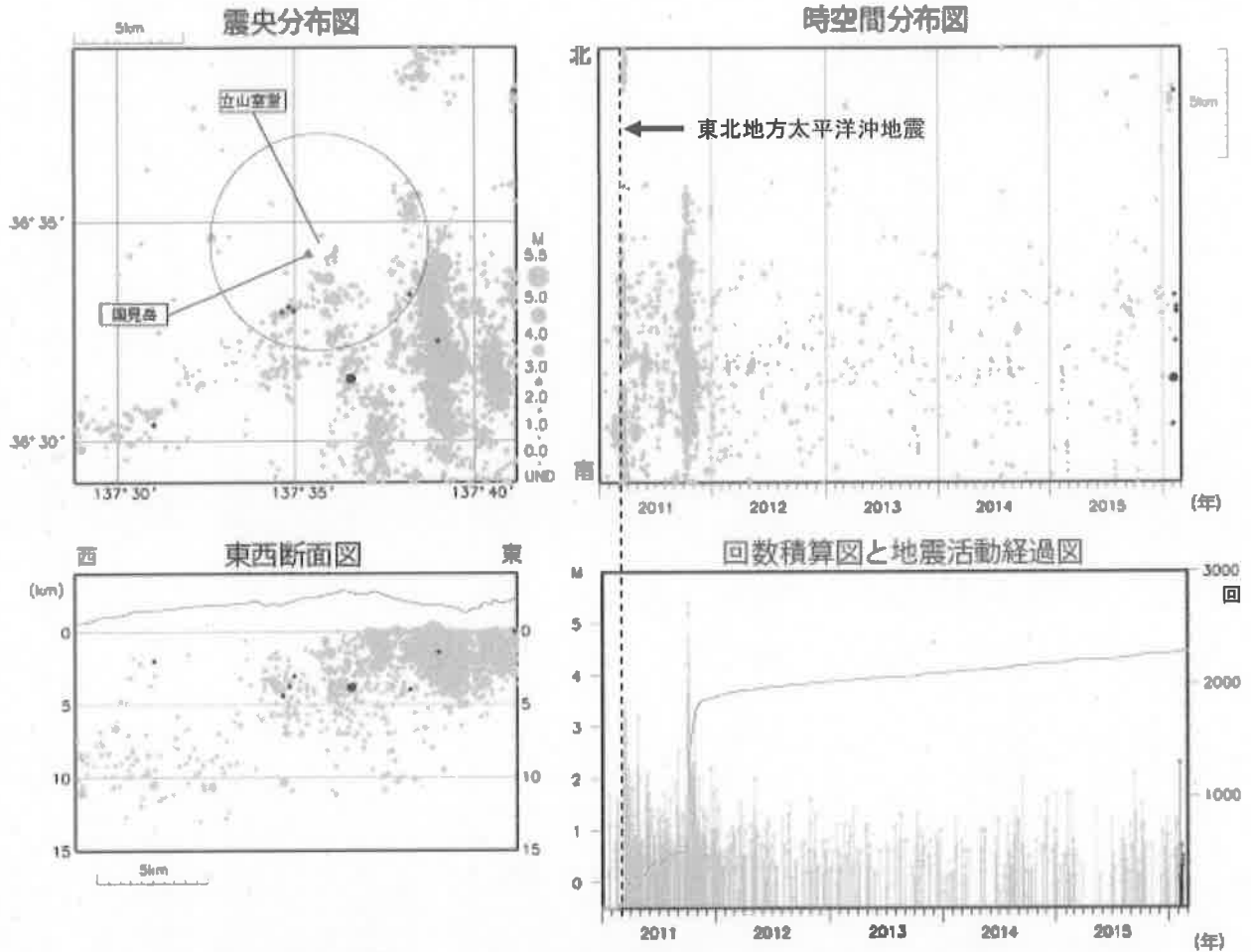


図2 弥陀ヶ原 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011年2月1日～2016年2月29日）

●：2011年1月1日～2016年1月31日    ●：2016年2月1日～2月29日

- ・ 震央分布図内の円は、立山室堂に設置した地震計（立山室堂2）で地震回数を計数しているS-P時間1秒以内となるおおよその範囲を示します。
- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・ 弥陀ヶ原近傍の地震活動は、低調に経過しています。